

ABC 朝日放送

ポツンと一軒家 春の2時間 SP! 鹿児島県のご夫婦

令和8年(2026)3月8日放送

山里離れた山奥に、ポツンと建つ一軒家。いったいどんな人が、どんな理由でこんなところに暮らしているのだろう。

今回は戦前からこの地に生まれ育った鹿児島県の山あい暮らし 90歳のご主人と83歳の奥さまが登場した。お二人が住むのは、かつて親戚5軒が寄り添って暮らした小さな集落で、今では唯一残った一軒家となっている。

代々農家として畑と田んぼを守り、さらにご主人は「鹿児島黒牛」の繁殖も手がけ、最盛期には14頭を育てていた。番組では、山の斜面を利用した田んぼ作りや水の確保の苦労が語られ、その説明の場面で田植え作業の写真(添付画像)が挿入され、山間の暮らしの厳しさと美しさが視覚的に伝えられた。3年前に畜産を引退した今も、夫婦は静かな山の暮らしを大切に守り続けている。



提供||水野俊一氏(奈良今昔写真WEB蔵)



部落の人が年取って  
作物作らなくなる